

### 第3学年1組 国語科学習指導案

#### 単元名：かくれんぼ名人！「昆虫ひみつブック」を作ろう 「自然のかくし絵」

男子14名 女子13名 計27名

指導者 石津 るみこ

#### 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年、「C読むこと」の指導事項「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領の言語活動例（2）「ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。」を基に、昆虫の保護色について学んだことを友だちに知らせることを目的として「昆虫ひみつブック」にまとめる言語活動を位置付ける。教材文や並行読書した本から学んだ昆虫の生態のひみつをまとめる活動を通して段落相互の関係を考えたり、中心となる語や文をとらえながら文章を読み、要約したりする力を身に付けることをねらいとしている。

教材文「自然のかくし絵」は、自然の中で生き抜く昆虫の保護色の役割や特徴について具体的な例を挙げながら説明している文章である。昆虫は、児童にとって身近な存在であり、自分の知識や情報、体験を想起しながら興味、関心をもって読むことができると思う。教材文では、「昆虫がどのように敵から身を隠しているか」ということを中心に説明しているため、だいたいな言葉や文に着目し、段落ごとに書かれている内容をとらえやすい。また、写真と文章を関連付けながら読むことで要点をとらえやすくなっている。さらに、説明文を読み解く手がかりとなる接続語や、「問い」に対する「答え」が明確に記されており、文章全体における段落の役割をとらえながら書かれていることを正確に読み取る力を育成するのに適している。

- 本学級の児童は、低学年で特に時間や事柄の順序に沿って文章の大体をとらえることを学習した。説明文「たんぽぽのちえ」や「どうぶつ園のじゅうい」では、時や順序を表す言葉に着目しながら内容を読み取った。「おにごっこ」では、「初め」「中」「終わり」の構成について知り、まとまりを意識して説明する学習を行ってきた。

4月に行った「海田町標準学力調査」において、「説明文の読み取り」の問題では、「時間的な順序、事柄の順序を考えながら、内容の大体を読むこと。」の通過率は57.0%で全国平均の61.0%と比べ低かった。このことから、文章を正しく読み取る力に課題があることが伺える。

日頃の様子からも、だいたいな言葉に着目して内容をすばやく読み取ることができる児童がいる一方で、どの言葉に着目してよいか分からず、内容を理解できない児童がいる。また、読み飛ばしや読み間違いなども多く、文章を細部まで注意して読み取ることができにくかったり、語のまとまりを意識できなかったりする児童もおり、読み取りの力に個人差が大きい。

## ○ **課題を発見・解決する力**

児童が自然の不思議について興味や関心をもち、これまで何気なく見たり触れたりしていた昆虫の生きる知恵について驚きを覚えながら内容を読み取り、もっと知りたいという意欲を喚起できるようにしたい。導入場面では、「かくし絵」という言葉について考えさせ、写真を提示して自然や背景の中に隠れ潜んでいる人間や昆虫を見付けさせることで興味付けをする。また、理科の学習や日常体験を想起しながら話し合い、教材文から昆虫のひみつを知りたい、学んだことを伝えたいという願いを児童から引き出すようにしたい。そして、昆虫について学んだことを「昆虫ひみつブック」にまとめ、友だちに伝えようという単元のゴールを設定する。目的を明確にすることで主体的に学ぼうとする意欲を高めたい。また、教材文を読むことで付けた力を主体的に自分の学習に生かしていくことができるように、昆虫に関する本を集め、自由に読むことが出来る環境を整えておく。

## ○ **深く考える力**

段落ごとの内容を読み取る段階では、写真と文章を関連付けながら読み、繰り返し出てくる言葉や題名とつながりがある言葉などに着目してキーワードや中心文をおさえ、要点をまとめていくようにする。その際、「また」「さらに」「では」「ところが」「このように」などの接続語の意味を考えたり、文末表現に着目して「問い」と「答え」の関係に気付かせたりしながら、段落の役割を明確にし、文章構成をとらえさせていきたい。

保護色の事例として取り上げられた複数の昆虫や、保護色が役立つ場合と役立つ場合を比較して読み取る際には、思考ツールの「ベン図」を用いて共通点や違いを視覚的に分かりやすく板書で整理し、違いに着目させることで中心文に気付かせたい。そして、小見出しを付けて「昆虫ひみつカード」にまとめていくことで、中心となる言葉や文を落とさず段落ごとの内容を要約する力を身に付けさせる。カードは、習熟度に合わせて穴埋め式と自由記述式のものを用意し、児童自らに選ばせまとめさせるようにする。教材文に使われている言葉を自分なりの言葉で言い換えながらまとめていく方法を段階的にていねいに指導するための手立てとしたい。

並行読書をした昆虫についての本の中から、自分が紹介したい昆虫のひみつをまとめていく段階では、まず、昆虫の特徴やひみつについて読み取ったことを付箋に書き出させていく。その後、限られた分量の中で説明するために必要な情報は何かを考えるために、優先順位を付けながら付箋を並び替え、内容を精選する。そして、「昆虫の特徴」を説明した後、教材文と同じように「問い」と「答え」の文型を用いてカードにまとめさせていく。教材文で付けた要約する力をここでも生かせるようにしたい。

## ○ **自己を理解する力**

課題設定の段階において、これまでの説明文の学習を想起させ、中学年で付けた力を児童に伝える。その力を付けるためにどのような学習をしていけばよいかを話し合いながら、学習計画を児童と共に立て、単元終了時のゴールの見通しをもたせる。学習内容や付けた力を掲示し、随時活用することで児童が見通しや目的意識をもって学習に取り組めるようにしたい。単元の振り返りの段階では、「昆虫ひみつブック」を他学級の友だちと交流し感想を伝え合うことで、自分や友だちの表現のよさや工夫に気付かせたい。学びのモニタリングの時間では、作品や友だちからの評価やノートなどを基に、単元の初めに立てたゴールの見通しの視点で自らの学びや学び方を振り返る。その中で、目的を明確にもちながら文章を読んだり、書いて伝え合ったりすることのよさや楽しさに気付かせ、今後の学習意欲につなげていきたい。

## 単元の目標及び内容について

- 昆虫の生態に関心をもち、知りたい昆虫について書かれている本を進んで読み、調べようとする。  
【関心・意欲・態度】
- 「昆虫ひみつブック」を作るために、接続語や指示語、文末表現などに着目し、段落相互の関係を考えながら読むことができる。  
【読むこと イ】
- 中心となる語や文をとらえながら文章を読み、言葉を補ったり書き換えたりして、昆虫について読み取ったことを要約することができる。  
【読むこと エ】
- 指示語や接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解し、要約する際に用いることができる。  
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ク)】

## 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
【単元を貫く言語活動】 昆虫の生態について紹介する「昆虫ひみつブック」を作る。		
昆虫の生態に関心をもち、知りたい昆虫についての本を進んで読み、調べようとしている。	目的に応じて、接続語や指示語、文末表現に着目し、段落相互の関係を考えながら読んでいる。 文章の中心となる語や文をとらえながら、言葉を補ったり書き換えたりして読み取ったことを要約している。	指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、「昆虫ひみつブック」作りをする際に使っている。

## 指導と評価の計画

全 11 時間

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	<b>課題の設定 (1)</b> ○題名や昆虫の写真をもとに、理科の学習や自分の体験を想起しながら話し合い、昆虫の身の隠し方について興味をもつ。 ・読み取ったことを「昆虫ひみつブック」にまとめる学習計画を立て、ゴールの見通しの視点を確認する。	○			・昆虫の生態に関心をもち、学習の目的や目標を理解しながら学習計画を立てている。	行動観察 ノート
	2	<b>情報の収集 (5)</b> ○保護色の定義について読み取る。 ・中心となる語や文を見付けながら読み、保護色の定義について「昆虫ひみつカード」にまとめる。		○		・三つの文の説明の順序を考えながら中心となる語や文をとらえ、保護色の定義について要約している。	行動観察 カード
	3	○「コノハチョウ」の身の隠し方について読み取る。 ・「問い」の文を見付け、その役割や答えが書いてある段落をとらえる。 ・「コノハチョウ」の身の隠し方の特徴を、写真と文章を関連付け、中心となる語や文を見付けながら読み取り、「昆虫ひみつカード」にまとめる。		○		・接続語や文末表現に着目して、「問い」と「答え」の関係をとらえている。	行動観察 カード

次	時	学習活動	評価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウの幼虫」の身の隠し方の違いを読み取る。</li> <li>・「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウの幼虫」の身の隠し方の特徴を写真と文章を関連付けながら読み取る。</li> <li>・それぞれの身の隠し方の違いを考えながら中心となる語や文を見付け、「昆虫ひみつカード」にまとめる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【本時】</b></p>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫同士を比較したり、写真と文章を関連付けたりしながら「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウ」の身の隠し方の違いを読み取り、中心となる語や文をとらえて要約している。</li> </ul>	行動観察カード
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護色が役立つ場合と役立つ場合について読み取る。</li> <li>・接続語や文末表現に着目しながら「問い」と「答え」の関係をとらえる。</li> <li>・「役立つ場合」と「役立つ場合」を比較し、表に整理しながら中心となる語や文を見付け、「昆虫ひみつカード」にまとめる。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護色が役立つ場合と役立つ場合を比較しながら読み取り、中心となる語や文をとらえて要約している。</li> </ul>	行動観察カード
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの学習をまとめ、文章全体の構成をとらえる。</li> <li>・「はじめ」「中」「終わり」のまとめや、「問い」と「答え」の関係を文章構成図にまとめる。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続語や指示語、文末表現に着目して、文章構成をとらえている。</li> </ul>	行動観察ノート
二	7	<p style="text-align: center;"><b>整理・分析（２）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○紹介したい昆虫について、選んだ本の中から必要な情報を付箋に書く。</li> <li>・どんな特徴やひみつがあるのか。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだ本の中から昆虫の特徴や知らせたいひみつを書き出すことができる。</li> </ul>	行動観察ノート
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書き出した中から必要な情報を精選する。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだ本の中から昆虫の特徴やひみつが分かる文を選んでいる。</li> </ul>	行動観察ノート
	9	<p style="text-align: center;"><b>まとめ・創造・表現（１）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が紹介したい昆虫の「ひみつカード」を作る。</li> <li>・調べて分かったことを要約しまとめる。</li> <li>○学級全員のカードをまとめ、「昆虫ひみつブック」を完成する。</li> </ul>			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文の「問い」と「答え」の文型や教材文の表現を生かして要約し、まとめようとしている。</li> </ul>	行動観察カード
	10	<p style="text-align: center;"><b>振り返り（２）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品を交流し合う。</li> <li>・「昆虫ひみつブック」を他学級の友だちと交流し、評価を付箋に書く。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い」と「答え」の文型や教材文の表現に着目しながら「昆虫ひみつブック」を読み合い、感想を伝えている。</li> </ul>	行動観察評価付箋
三	11	<p style="text-align: center;"><b>学びのモニタリング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの学びや学び方を振り返る。</li> <li>・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや「昆虫ひみつブック」を基に自らの学びを振り返る。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの学びや学び方を振り返り、学習したことをこれからの学習に生かそうとしている。</li> </ul>	行動観察ノート

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 写真と文章を関連付け、昆虫と昆虫を比較し、「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウの幼虫」の身の隠し方の違いを読み取ることができる。

### (2) 本時の評価規準

- 「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウの幼虫」の身の隠し方の違いを読み取り、中心となる語や文をとらえて要約している。 【読む能力】

### (3) 本時の学習展開 (4 時間目 / 全 11 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の学習課題を確認する。	◇中心となる言葉や文を見付けながら「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウの幼虫」の身の隠し方を読み取り、「昆虫ひみつカード」にまとめることを確認する。	
めあて _____ 「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウの幼虫」の身の隠し方を比べながら読み取り、まとめよう。		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>本時のゴールの見通し (評価基準)</b>            A : 段落相互の関係や中心となる語や文をとらえて要約し、自分の知識や情報、体験を入れながらまとめている。            B : 段落相互の関係や中心となる語や文をとらえて要約している。         </div>		
2 本時の学習範囲 (P 40 L1～P 41 L2) を音読する。  3 トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方について読み取る。 ○2枚の写真を見比べてどんなことが分かりますか。  〈トノサマバッタ〉 ・バッタの体の色が違う。 ・周りの色と体の色が似ている。 〈ゴマダラチョウの幼虫〉 ・葉っぱの色が違う。 ・幼虫の体の色が違う。 ・幼虫の体の色が緑から黄色に変わっている。	◇トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の写真を2枚ずつ提示し、気づきを発表させる。 ◇分かったことを思考ツールの「ベン図」を使い、教師が板書に整理する。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>□思考の場の工夫 <b>比較する</b></p> <p>トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方の違いをベン図に整理する。</p> </div> <p>○それぞれの写真について説明しているのは文章のどの部分ですか。線を引きましょう。</p> <p>〈トノサマバッタ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑色の草むら⇒緑色のバッタ</li> <li>・褐色の枯草や落ち葉の上⇒褐色のバッタ</li> </ul> <p>〈ゴマダラチョウの幼虫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春～夏 葉が緑⇒体の色は緑</li> <li>・秋 葉が黄色⇒体の色も黄色</li> </ul> <p>○トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方の違いは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トノサマバッタは、体の色が保護色になる場所を選んで棲んでいるのに対して、ゴマダラチョウの幼虫は、周りの色が変化すると体の色が変わる。</li> <li>・トノサマバッタの体の色は変わらないけれど、ゴマダラチョウの幼虫の体の色は変わる。</li> </ul> <p>○「違い」についてまとめて書いてある文は、それぞれどこですか。</p> <p>4 読み取ったことを、「昆虫ひみつカード」にまとめる。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇サイドラインを色分けして引かせ、写真と文を対応させながら、キーワードをとらえさせる。</p> <p>◇「違い」を見付けることで、中心文に着目できるようにする。</p> <p>◇1文ずつの短冊を黒板に提示し、どちらも1文目が中心文で、後の文は例であることをとらえさせる。</p> <p>◇穴埋め式と自由記述式のカードを児童に選択させ、中心文をおさえて要約させる。</p> <p>◆要約が難しい児童には穴埋め式のカードを用い、ベン図で整理したキーワードが文のどこに入るか考えさせる。</p> <p>◇要約文を数名に発表させ、再度要点を確認する。</p> <p>◇要約文に小見出しを付ける。</p>	<p>☆昆虫同士を比較したり、写真と文章を関連付けたりしている。</p> <p>◎「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウ」の身の隠し方の違いを読み取り、中心となる語や文をとらえて要約している。〔読む能力〕(行動観察・カード)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方には違いがあります。トノサマバッタは、自分の体が保護色になるような場所を選んで棲んでいます。ゴマダラチョウの幼虫は、自分の周りの色に合わせて体の色を変えて身を隠しています。</p>		
<p>◇次時は、二つ目の問いの答えを見付けながら読み取ることを確認する。</p>		

(4) 板書計画

かくれんぼ名人！「こん虫ひみつブック」を作ろう

自然のかくし絵

めあて

矢島 稔

「トノサマバッタ」と「ゴマダラチヨウのよう虫」の身のかくし方をくらべながら読みとり、まとめよう。

**問い** こん虫は、ほご色によって、どのようにてきから身をかくしているのでしょうか。

**答え** トノサマバッタとゴマダラチヨウのよう虫の身のかくし方のちがい

**トノサマバッタ**

**まとめ** 自分の身体の色がほご色になるような場所をえらんですんでいる。

↓

- ・ 緑色の草むら ↓ 緑色のバッタ
- ・ かつ色のかれ草や落ち葉の上 ↓ かつ色のバッタ

※写真

**ゴマダラチヨウのよう虫**

**まとめ** まわりの色がへんかするにつれて、体の色がかわっていく。

↓

- ・ 春～夏 葉が緑 ↓ 体の色は緑
- ・ 秋 葉が黄色 ↓ 体の色も黄色

※写真

**まとめ**

**トノサマバッタ**

- ・ 自分の体がほご色になるような場所をえらんで住む。
- ・ 色はかわらない。

**ゴマダラチヨウのよう虫**

- ・ 自分のまわりの色に合わせて体の色を変える。
- ・ すむ場所は同じ。

〈参考〉 **学びのモニタリング**

**海田東小 学びのモニタリング**

かくれんぼ名人！「こん虫ひみつブック」を作ろう

「自然のかくし絵」

三年 組 番 ( )

① 「こん虫ひみつブック」を作るためにすすんで文しようにを  
読んだり書いたりした。

とても まあまあ あまり まったく

4 3 2 1

【理ゆう】

② だんらくの役わり（何が書かれているだんらくか）を考え  
たり、キーワードや中心文を見つけながら文しようにを  
読んだりまとめたりました。

とても まあまあ あまり まったく

4 3 2 1

【理ゆう】

③ これまでの自分の国語の学習のようすくらべながら学習を  
ふりかえり、感そうを書きましよう。

.....

.....

.....

.....